

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地															
専修学校 麻生ビューティーカレッジ	平成14年3月29日	林 宏治	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目9-23 (電話) 092-735-3800															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地															
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999															
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士													
衛生	衛生専門	ビューティースペシャリスト科 (ネイリストコース)		平成29年文部科学省告示 第30号	-													
学科の目的	本学科は、ネイリストに必要な知識技能を修得せしめ、社会に有為有能なる実践的人材を養成することを目的とする。																	
認定年月日	平成26年3月31日																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験												
2年	昼間	1716	180	615	921													
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
80 人の内数	6 人	0 人	3 人	14 人	17 人													
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。														
長期休み	■夏季: 8月1日~8月31日 ■冬季: 12月22日~1月7日 ■春季: 3月4日~4月3日		卒業・進級 条件	学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の通年評価がC評価(60点)以上であること。教科の区分ごとにその教科課目の3分の2以上(実習を伴う教科課目は5分の4以上)出席していること。														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 補講の実施、休学、留年 担任および学科教員との個別ガイダンスの実施。		課外活動	■課外活動の種類 無 ■サークル活動: 無														
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) ネイルサロン・美容品販売メーカー		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)														
	■就職指導内容 求職票面接、個別指導等			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネイリスト技能検定1級</td> <td>③</td> <td>6 人</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>ネイリスト技能検定2級</td> <td>③</td> <td>6 人</td> <td>6 人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ネイリスト技能検定1級	③	6 人	2 人	ネイリスト技能検定2級	③	6 人	6 人
資格・検定名	種	受験者数		合格者数														
ネイリスト技能検定1級	③	6 人		2 人														
ネイリスト技能検定2級	③	6 人	6 人															
	■卒業者数 6 人 ■就職希望者数 6 人 ■就職者数 6 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %		<p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>															
	■その他 :  (平成29年度卒業生に関する 平成30年5月1日 時点の情報)		■自由記述欄 ・全日本ネイリスト選手権九州・沖縄地区大会 スチューデント部門ネイルケア1位・2位入賞															
中途退学 の現状	■中途退学者 2 名 平成29年4月1日時点において、在学者8名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者6名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、留学のため		■中退率 25 %															
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する 東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金、校納金、寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 無																	
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																	
当該学科の ホームページ URL	https://asojuku.ac.jp/abc/ ※学校のHPのみ																	

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容業界で即戦力として活躍できるネイリストとしての基礎をしっかり学び、2年間で高度な検定資格の取得を目指していく。また、トータルビューティーを推奨する美容業界の動向に合わせ、基礎実習はもとより、正しいネイル技術・また、メイク・エステの基本技術が修得できることを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行い、カリキュラムに活かす。更に企業等が実習の授業を行う機会を設け、実務に即した教育を実現する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。教育課程編成委員会の意見は、校長代行が主宰する各学科のカリキュラム会議において、カリキュラムの改善(授業科目の新設、改変や、授業方法の改善・工夫)などにできる限り反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
永倉 瑞恵	一般社団法人JMA 理事	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	①
松崎 成能	BOSCO	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	③
佐藤 武晶	(株)ぼたんや専務取締役	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	③
吉永 衣利	ノムラ インターナショナル(株)	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	③
林 宏治	麻生ビューティーカレッジ 校長	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	
佐伯 京子	麻生ビューティーカレッジ 校長代行	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	
渡辺 博明	麻生ビューティーカレッジ 事務部長	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	
江藤 登志美	麻生ビューティーカレッジ 教務 リーダー	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	
野口 由紀子	麻生ビューティーカレッジ 教務	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	
菊池 佳子	麻生ビューティーカレッジ 教務	H30/4/1～H31/3/31(任期1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間開催数及び開催時期)

年2回開催 (毎年7月、1月)

(開催日時)

平成29年度 第1回 平成29年7月 3日(月) 9:30～10:30  
平成29年度 第2回 平成30年1月 29日(月) 10:00～11:30  
平成30年度 第1回 平成30年7月 6日(金) 15:00～16:00  
平成30年度 第2回 平成30年12月 7日(金) 開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

社会人としての常識やホスピタリティー(第一印象・言葉遣い動作)は大事。今後は外国人や高齢者への接し方など人材育成にも力を入れているため、卒業までに接客マナーなど基本的なことは身に付けて欲しいとの意見をいただいた。指摘のあった二つの力の向上に該当する「接遇」、「GCB」の授業の中で、さらに会話力、コミュニケーション力の向上を意識した実践的な授業となるようシラバスを一部修正することとした。平成29年度後期には「保護者感謝デー」として保護者に来校いただき、専門分野(ネイル)の施術をする機会を増やした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現場で求められる実践的なスキルとマインドを現役のプロから直接指導を受けられる授業体制を整え、学外における実践的な接客や施術を授業の一環として取り入れる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

株式会社NS-PROJECT

契約に基づき、プロのネイリストを養成するスクールを運営する上記企業より、講師を派遣していただき、現場のプロと同じレベル、内容のプログラムによって授業を行う。カリキュラムの内容および進め方については、NS-PROJECTと本校常勤教員が協議し決定した上で、日本ネイリスト協会の検定対策並びに現場で必要とされている実践的な技術指導について授業を行う。評価についても、NS-PROJECTと常勤教員それぞれが学生のネイル実習における施術プロセスおよび仕上がりについて、評価を行う。両者の評価結果を、協議した上で最終的に合意評価を決定する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ネイル実習	サロンワークに則した実践的なネイル技術及び知識を取得するとともに、より高度な資格検定であるネイリスト検定3級、2級及び1級、ジェルネイル初級検定の取得を目指す。	NS-PROJECT

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在の職務又は今後就くことが予想される職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名:「ネイル教材学研修」(連携企業等:日本ネイリスト協会)  
日 程:平成30年3月22日  
内 容:理論や実習授業の為に、用具用材の取り扱いや化学反応を習得、知識のアップグレードが目的。  
対象:ビューティースペシャリスト科教員1名参加

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名:「カウンセリングⅡ」(連携企業等:日本交流分析協会)  
日 程:平成29年5月24日  
内 容:ロールプレイングによるケーススタディで、個別面談の仕方を学ぶ。  
対象:ビューティースペシャリスト科教員1名参加

・研修名:「発達障害の理解」(連携企業等:NPO法人 発達障がい者就労支援ゆあしっぶ)  
日 程:平成30年3月16日  
内 容:障がい者と思われる学生の特性を知り、校内での配慮や支援を考える機会とする。  
対象:ビューティースペシャリスト科教員1名参加

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務実務に関する研修等

- ・ 研修名:「認定講師勉強会」(連携企業等:NPO法人ネイリスト協会)  
日 程:平成30年8月8日  
内 容:秋期・冬期ネイル検定のジャッチ内容統一と12月ジェル検定ジャッチ内容統一を図る。  
対象:ビューティースペシャリスト科教員1名参加

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・ 研修名:「初年次教育セミナー2018」(連携企業等:ベネッセグループ(株)進研アド)  
日 程:平成30年7月25日  
内 容:低学力層への効果的な指導方法。  
対象:ビューティースペシャリスト科教員1名参加
- ・ 研修名:「インストラクショナルデザイン II」(連携企業等:一般社団法人全国専門学校教育研究会)  
日 程:平成30年8月29日  
内 容:3ポリシーについて、学科目標・教科目標の整理・学科カリキュラムの見直し・改善。  
対象:ビューティースペシャリスト科教員1名参加
- ・ 研修名:「コーチング実践」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)  
日 程:平成30年9月5日  
内 容:学校における学生、保護者との対応事例を使い、コーチング手法を学ぶ。  
対象:ビューティースペシャリスト科教員2名参加

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行う。

#### (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育人人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

根本的に学校をより良いものにしていくという思いと改善をしようとする事が大事だと意見をいただき、改善活動がなされているか、教職員会議で自己点検の進捗状況の共有を実施。また、今年度からは各リーダーも学校関係者委員会の場に参加し、全員参加で現場から改善を行っていく。また、昨年の学校関係者委員会内にてハラスメントについての質問があり、職員へのアンケート調査を実施。さらに、学内での研修会も行い改善活動として活用している。ビューティースペシャリスト科では、非常勤講師との連携を強化し、「授業内での学生との関わり方」を共有、更に学科会議の中で全コースの状況共有を図り、担任だけでなく全体で学生との関わりに対する意識を高めている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
森田 伸	株式会社 ダリア 福岡営業所 課長	H29/4/1~H31/3/31(任期2年)	企業等
原田 七海	株式会社田谷 TAYA天神店	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	卒業生
友岡 貴昭	在校生保護者	H29/4/1~H31/3/31(任期2年)	保護者
永末 里志	博多女子高等学校 理事長・学校長	H29/4/1~H31/3/31(任期2年)	高等学校関係者
亀岡 正茂	舞鶴2丁目町内会長	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	地域住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL:<https://asoiuku.ac.jp/about/disclosure/>

公表時期:平成29年9月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めて頂く事を目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、歴史、校訓、学校の特色
(2) 各学科等の教育	学科コース一覧、国家資格、就職実績、入学案内
(3) 教職員	教員一覧
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	セミナー・コンテスト実績、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8) 学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	グローバル教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧))

URL:<https://asoiuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程ビューティースパシャリスト科ネイルコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			メイク理論	1 化粧品の定義について 2 皮膚理論全般 3 皮膚の構造 4 真皮、表皮 5 日焼けのメカニズム 6 トラブルスキン 7 人相学	1年 2年・前	30		○			○		○		
○			エステ理論	1 解剖生理学 2 化粧品学 3 カウンセリング	1年・通	30		○			○		○		
○			ネイル理論	1 爪の歴史、病気、名称 2 爪の化粧品学 3 消毒法、衛生管理、 カウンセリング	1年・通 2年・前	45		○			○		○		
○			栄養学	1 現代の食の問題 2 糖質 3 脂質 4 タンパク質 5 ビタミン、ミネラル 6 食物繊維、フィトケミカル 7 栄養価計算	1年 2年・前	45		○			○			○	
○			メイク実習	1 メイク理論及びスキンケア実習 2 ベースメイク実習 3 アイメイク実習 4 リップカラー、チークカラー実習 5 骨格修正メイク	1年 2年・通	120				○	○		○		
○			サロン実習	1 運営企画 2 広告、営業 3 店舗運営	1年・前 2年・通	144			○		○		○		
○			ネイル実習	1 ネイル理論 2 ネイルケア 3 ネイルカラー 4 ネイルアート	1年 2年・通	480				○	○		○	○	○
○			エステ実習	1 エステティック理論 2 スキンケア実習 3 フェイシャルエステ実習 4 ヘッドマッサージ実習	1年 2年・前	141				○	○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			着付け	1 小物の名称、準備、着物の歴史 2 自分に着付ける 3 人に着付ける	1年 2年・ 後	36				○	○			○		
○			ヘアアレンジ	1 ゴムの結び方、土台、面の作り方 2 編み込み（表編み、裏編み、片編み） 3 アイロン、ホットカーラーの使い方 4 逆毛、ピニング、シニヨン 5 夜会巻き	1年 2年・ 通	78				○	○		○	○		
○			カラーコーディネイト	1 色とトレンド 2 パーソナルカラー 3 色の分類、色相、明度、彩度 4 色の心理効果 5 配色、色とバランス	1年 2年・ 前	75				○	○				○	
○			ファッションコーディネイト	1 デザイン造形のセオリー 2 カラーコーディネイト 3 ファッションイメージの分類 4 ファブリック 5 ファッショントレンド	1年 2年・ 後	60				○	○				○	
○			ビューティーコーディネイト	1 BCの役割 2 フロアマネジメント 3 美容知識	1年 2年・ 後	66				○	○		○			
○			スタイリング・マップ	1 色と形と素材の関係 2 個性分析	2年・ 後	30				○	○				○	
○			デッサン	1 鉛筆描画 2 自画像制作 3 ライフマスク制作 4 色彩学、スタイル画制作	1年・ 通 2年・ 後	111				○	○				○	
○			接遇	1 言葉遣い（敬語の使い方） 2 社会人としてのマナー（立居振舞い） 3 接客用語 4 顧客心理 5 電話対応 6 ビジネス文書	1年・ 通 2年・ 前	60				○	○				○	
○			教養基礎	1 国語（漢字、四文字熟語、文学史） 2 数学（消費税、損益算、鶴亀算） 3 時事（国際、地理、法律、経済）	1年・ 後	30				○	○				○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職実務	1 就職までの流れに関する講義 2 就職活動時の注意点に関する講義 3 履歴書及び面接対策に関する演習	1年・通2年・前	60		○			○		○		
○			GCB	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	1年2年・前	30		○			○		○		
○			総合学習	1 企業セミナーの受講 2 福祉ボランティアへの参加 3 社会貢献事業への参加	1年2年・通	45		○			○		○		
合計					20科目			1716単位時間 (			単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学則に定められた時間（履修時間）を履修していること。（学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。）各学期、教科課目の区分ごとに、その教科課目の3分の2以上（実習を伴う教科課目は5分の4）以上出席を満たしていること。 当該学年において履修すべき課目の各学期ごと試験の通年評価が必修課目60点（C評価）以上、選択必修課目60点（C評価）以上であること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週